

【調査方法】震災犠牲者の生き証人を残す企画「忘れぬ」の取材に協力いただいた県内外の遺族2400人を対象に本社記者が面談と郵送で実施。昨年11月6日から今年1月30日まで遺族1549人から回答を得て、犠牲者2135人(男性1008人、女性1127人)の震災時の行動を分析した。地震発生時と津波到達時にいた場所が判明した1326人は避難行動を再現。遺族の了解を得た687人(男性296人、女性391人)は実名で掲載した。地図は国土地理院の航空写真を利用している。県内の死者・行方不明者は5796人。「忘れぬ」では、連載を開始した12年3月からこれまでに3428人を掲載している。

命を守る5年の誓い、とにかく逃げる、逃げたら戻らない、避難場所を過信せず、少しでも高い場所へ、助かるための避難訓練を、(二)まで津波は来ないとは通用しない、災害弱者を救うルールづくりを

犠牲者の行動記録

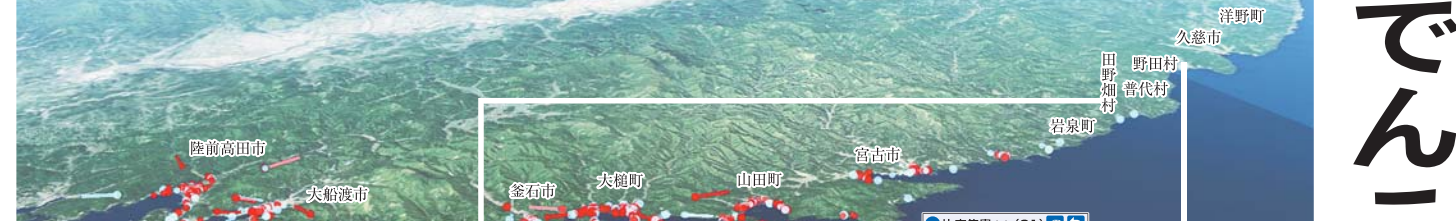
⑤岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、久慈市、洋野町

震災5年

岩手日報社を渡辺英徳准教授の研究が、犠牲者の行動記録から、命を守るため、まず逃げるという原則があらためて確認された。田野畑村では様子を見て避難が遅れたが、野田村では災害弱者を助けるため高台から戻った人が津波にのまれた。

限られた時間 様子見て避難遅れる

津波は沿岸部でも、災害弱者を助ける多くの命を奪った。津波発生時、田野畑村で決めたおこなった対応策が重要だ。津波発生時、田野畑村で決めたおこなった対応策が重要だ。津波発生時、田野畑村で決めたおこなった対応策が重要だ。津波発生時、田野畑村で決めたおこなった対応策が重要だ。



データで見る行動記録

2016年「忘れぬ」遺族アンケート、犠牲者2135人の行動調査より

- 避難後 **8.7%** が津波浸水域に戻った。
- とにかく逃げる 逃げたら戻らない
- 地震後の行動: **56.6%** がすぐ避難しなかった。低地の避難場所で被災した人が多数いた。過去の避難訓練で使った本来の避難場所ではない施設へ避難し、津波にのまれた地域もあった。「何らかの行動後、避難」した人は間に合わなかった。
- 避難場所を過信せず、少しでも高い場所へ
- 助かるための避難訓練を
- 5.7%** が避難先で津波に襲われた。
- 54.9%** が自宅や自宅付近で被災した。過去の被災経験や海からの距離、防潮堤など構造物から安全と判断し、亡くなった高齢者もいた。
- 「ここまで津波は来ない」は通用しない
- 16.1%** が災害時に援護が必要な人だった。
- 11.4%** が家族や知人の避難を支援していた。
- 災害弱者を救うルールづくりを

岩泉町	田野畑村	普代村	野田村	久慈市	洋野町
人口 9802人 (11年3月比906人減)	人口 3446人 (11年3月比392人減)	人口 2788人 (11年3月比277人減)	人口 4109人 (11年3月比497人減)	人口 3万5597人 (11年3月比1192人減)	人口 1万6585人 (11年3月比1190人減)
死者 7人	死者 14人	死者 0人	死者 38人	死者 2人	死者 0人
不明者 0人	不明者 15人	不明者 1人	不明者 0人	不明者 2人	不明者 0人
関連死 3人	関連死 3人	関連死 0人	関連死 1人	関連死 1人	関連死 0人

記憶 遺族の思い

工藤浩一さん(野田) 母妻が犠牲 高台と安心せずに

「二」は2人の教えを守った。高台と安心せずに、避難場所を過信せず、少しでも高い場所へ、助かるための避難訓練を、(二)まで津波は来ないとは通用しない、災害弱者を救うルールづくりを

犠牲者の教え 次代へ



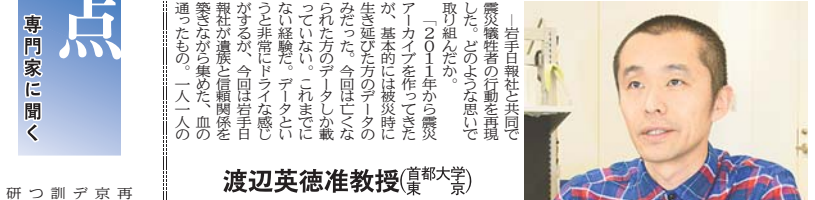
今村文彦教授(東北大学 災害科学国際研究所)

「生き残った人の情報だけでは教訓は残されない。亡くなった人の情報の意義は大きい」と語る今村文彦教授。仙台市・東北大学災害科学国際研究所長。54歳。山梨県出身。

教訓 動きを読み解く

津波は沿岸部でも、災害弱者を助ける多くの命を奪った。津波発生時、田野畑村で決めたおこなった対応策が重要だ。津波発生時、田野畑村で決めたおこなった対応策が重要だ。津波発生時、田野畑村で決めたおこなった対応策が重要だ。

世界で分かる遺訓に



渡辺英徳准教授(首都大学東京)

「血の通ったデータだ。世界中の誰にでも意味があることが分かる」と遺訓を発信する可能性を語る渡辺英徳准教授。東京都日野市・首都大学東京。41歳。大分県出身。

「世界で分かる遺訓に」は通用しない、災害弱者を救うルールづくりを

「つんづん」命を守る

「つんづん」命を守る

焦点 野田村

海沿いの道路回避

記憶 遺族の思い

きょうからサイト全面公開 PC・スマホ

岩手日報社は9日、首都大学東京の渡辺英徳准教授の研究室と共同で制作した「忘れぬ」震災犠牲者の行動記録の特設サイトを全面公開しました。パソコンやスマートフォンで閲覧いただけます。画面上の青色はバナー、赤色は女性。軌跡は移動を表し、自動車など乗り物の移動の場合は長くなります。

使い方

- 1 再生/停止
- 2 時間軸スライダー
- 3 視点切り替え
- 4 地図切り替え
- 5 点をクリック
- 6 犠牲者の行動記録情報
- 7 2D、3D切り替え
- 8 クリックするとGoogleストリートビューが起動
- 9 9の操作をすると被災地の様子が出る